

# 医薬薬連携のPDCAサイクルについて

## がん化学療法の実状

### 患者

化学療法に対して不安が強い。



副作用発現時に相談できる医療機関が、身近にあると安心できる。

### 病院

別の医療機関での治療薬が不明であることがある。



化学療法と相互作用がある薬剤に気づかないことがある。

### 保険薬局

患者および治療の情報が不足している。



内服薬の用量の確認やレジメンに応じた副作用の対処方法を行うのに困難である。

# 安全ながん化学療法のためのPDCAサイクル

## PLAN

安全な化学療法を実施するため、病院と保険薬局で患者情報を共有できるようにする。次の診療日までの患者の副作用状況について情報を得るように計画する。

## DO

化学療法のレジメン、検査値、治療歴、患者が自身が記載する副作用状況カレンダーを綴ったファイルを渡し、病院と保険薬局の連携を実施している。(平成26年5月より)

## ACT

分析した結果により、患者および保険薬局へさらに必要となる情報を提供する。がん種を増やして連携の規模を拡大する。

## CHECK

患者および保険薬局から提供された情報をモニタリングし、医薬品連携の効果を分析する。